

No. 18-13

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 18 - 13

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		28年 5月 19日		
事務事業名		駅伝大会開催事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち						課名	社会教育課		係名	スポーツ振興係
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる							シート作成者			
	施策	3-1-4 スポーツの振興						予算費目	会計		一般	
		② 多様なスポーツ活動の普及促進							款		10	
主要施策							項		6			
							目		2			
個別計画名												
住民との関わり		住民団体・行政との共催事業・イベント										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				町内全23自治会対抗競技の大会であり、地区民対抗競技として開催することで地域の団結力が向上し、また、走る機会を提供することが住民（選手）の体力及び競技力の向上となる。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		<p>体育協会が主管し、小・中学生から成人まで、各年齢・男女8区間、1本のタスキを繋ぎ、健脚を競う大会である。以前は町内一周コースで実施していたが、交通事情への対応等により、平成17年度から、中部公園周辺周回のL（2.3km）・S（1.6km）コースを設定し開催。このコースに改めたことにより、参加自治会数増の結果を得た。大会の開催に向け、主管する体育協会を中心に、前回までの反省点を検証、整理し、より良い大会となるべく努める。</p>										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等												
		平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		748			917			921				
財源内訳	国庫支出金	0			0			0				
	県支出金	0			0			0				
	地方債	0			0			0				
	その他特定財源	0			0			0				
	一般財源	154			323			327				
直接事業費（千円）A		154			323			327				
人件費（千円）B		594			594			594				
内訳	一般職員（人・千円）	0.09 人		594		0.09 人		594		0.09 人 594		
	臨時職員（人・千円）	人		0		人		0		人 0		
成果指標	成果指標名				単位		27年度		28年度		29年度	
							目標		実績		（目標）	
	① 参加自治会数				自治会		23		18		23	
	②											
③												
説明												

事業名		駅伝大会開催事業		シート作成課		社会教育課		
一次評価者		社会教育課長		二次評価者		教育委員会事務局長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	県では美し国駅伝を開催しており、大変好まれる陸上スポーツである。地区対抗として競技を開催することで地域の団結力が向上する有効な競技と考えます。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地区の団結力を図る上で大変有効と考えます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	全23自治会中、18自治会の参加があり、沿道での応援も多く一体感を感じました。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	体育協会陸上専門部を中心にあまりコスト高にならないように実施しています。	
本事務事業の実施適切性の説明								
各地区の子どもから大人まで、それぞれの地区の代表選手として参加頂き、1本のタスキをつないで地域の団結と沿道の人々の応援に勇気づけられる大会です。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	
						(7) D	(7) C	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
今後の改革・改善目標	子どもから大人まで世代を越えた交流を通じて、地域の団結力及びコミュニケーションづくりの向上に努め、また、23自治会が参加できるよう努めます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	
						(7) D	(7) C	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
コメント	気軽に参加できるという本事業の主旨に沿うよう、実施内容等をさらに検討し、全23自治会が参加できるように努める必要があるが、参加できない自治会がある以上、自治会対抗の在り方についても検討を進める必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				